



2025年3月期 第3四半期決算説明資料

株式会社フォーラムエンジニアリング
 (東証プライム : 7088)

- **2025年3月期 第3四半期決算概況について**
- **国内各事業サービスの状況**
- **海外事業サービスの状況**
- **Appendix**

- **2025年3月期 第3四半期決算概況について**
- 国内各事業サービスの状況
- 海外事業サービスの状況
- Appendix

前期に対し、売上高+2,559百万円（+10.9%）、営業利益+995百万円（+41.1%）
業績予測に対する進捗率も、順調に推移

（単位：百万円）

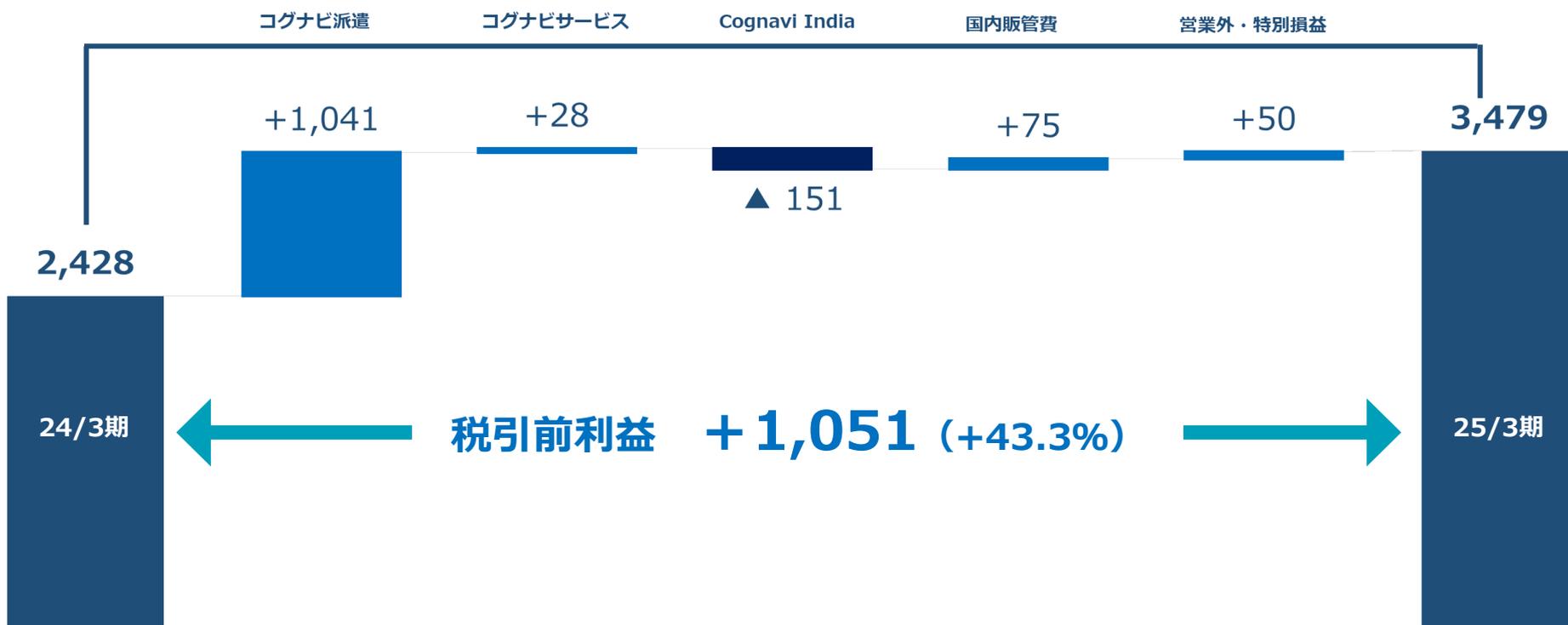
	【連結】 2025年3月期 第3四半期実績	通期業績予想	進捗率	【連結】 2024年3月期 第3四半期実績	対前年増減比	
売上高	26,052	34,600	75.3%	23,492	+2,559	+10.9%
売上総利益	8,130			7,053	+1,077	+15.3%
売上総利益率（%）	31.2%			30.0%	+1.2%pts -	
販管費及び一般管理費	4,713			4,630	+82	+1.8%
営業利益	3,417	4,000	85.4%	2,422	+995	+41.1%
営業利益率（%）	13.1%			10.3%	+2.8%pts -	
経常利益	3,479	4,070	85.5%	2,428	+1,051	+43.3%
税引前利益	3,479			2,428	+1,051	+43.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,330	2,725	85.5%	1,632	+697	+42.7%

(単位：百万円)	2025年3月期 第3四半期実績			進捗率	2024年3月期 第3四半期実績		
	通期業績予想				対前年増減比		
売上高	26,036	34,565	75.3%	23,492	+2,543	+10.8%	
フォーラム エンジニアリング							
営業利益	3,701	4,360	84.9%	2,551	+1,150	+45.1%	
<hr/>							
売上高	15	30	52.8%	0	+16	-	
コグナビ インディア							
営業利益	▲ 279	▲ 350	-	▲ 128	▲ 151	-	

注*進捗率、前期比：どちらかがマイナス、もしくは1.000%以上の場合、一表記

注*通期業績予想は百万円以下を切り捨て、0としているため合計値が合わない場合がございます

(単位：百万円)

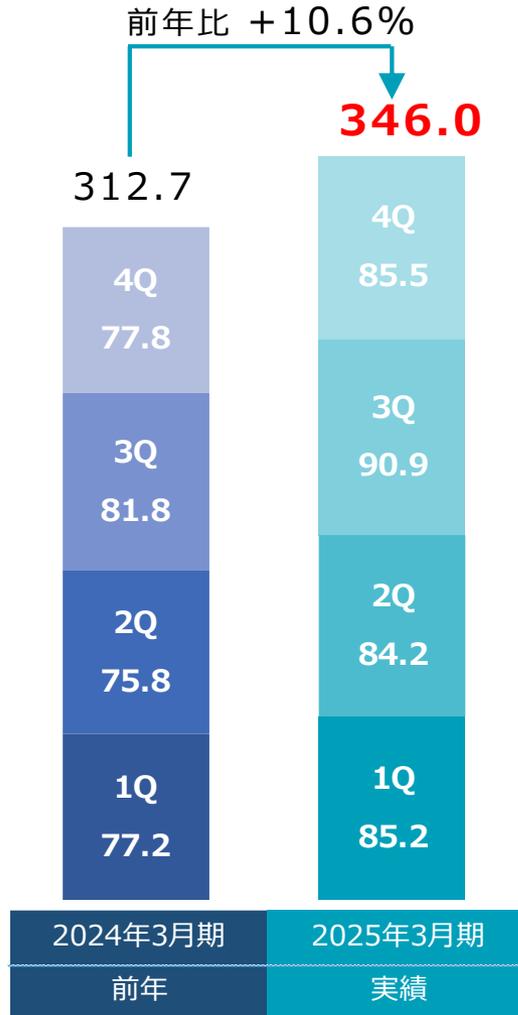


コグナビ派遣		コグナビサービス		Cognavi India		国内販管費		営業外・特別損益	
稼働者数増加	+334	コグナビ新卒成約増	+59	営業利益	▲151	人件費	+23	Cognavi India 定期預金運用益	+57
派遣単価上昇	+668	コグナビ転職／転籍 成約減	▲31			人材募集費	▲18	コミットメントライン支払金利	▲7
有給・休暇取得日数減	+79					PR関連費	▲41		
所定外時間増	+20					情シス費／ソフト償却費	▲49		
原価増	▲60					その他	+12		

前回上方修正した計画のとおり、売上高346億、営業利益40億を見込む

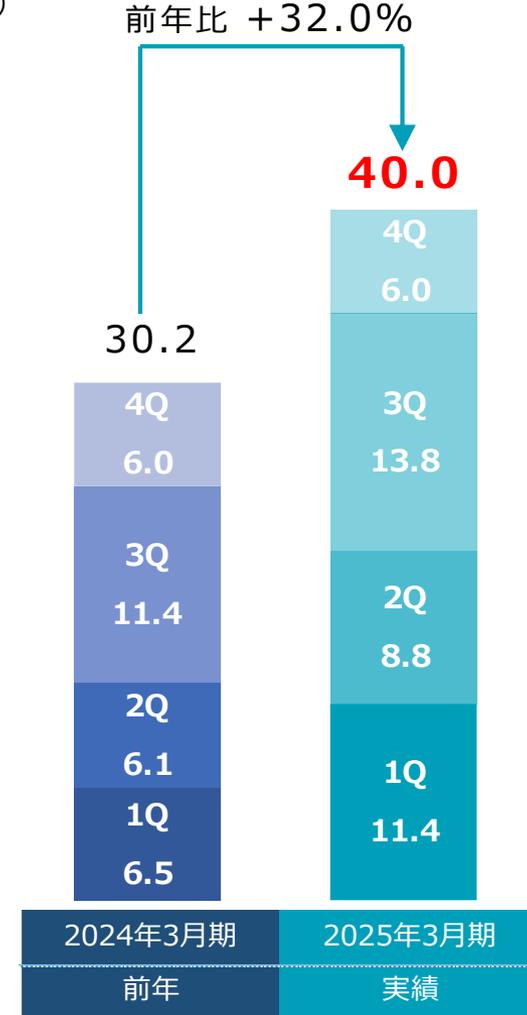
● 売上高

(単位：億円)



● 営業利益

(単位：億円)



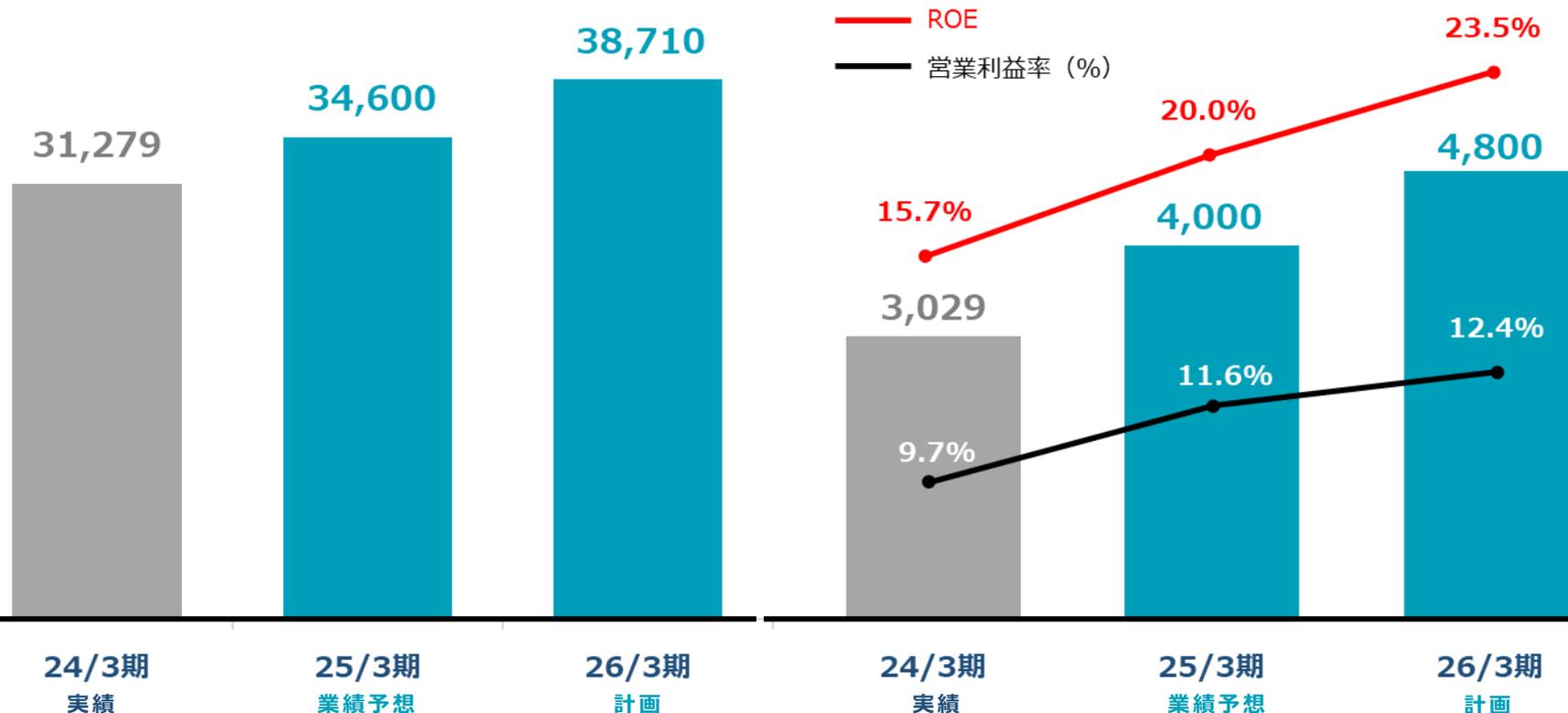
ROE 15.7% **20.0%**

前回上方修正した計画のとおり、26/3期は売上高387億、営業利益48億を見込む

（単位：百万円）

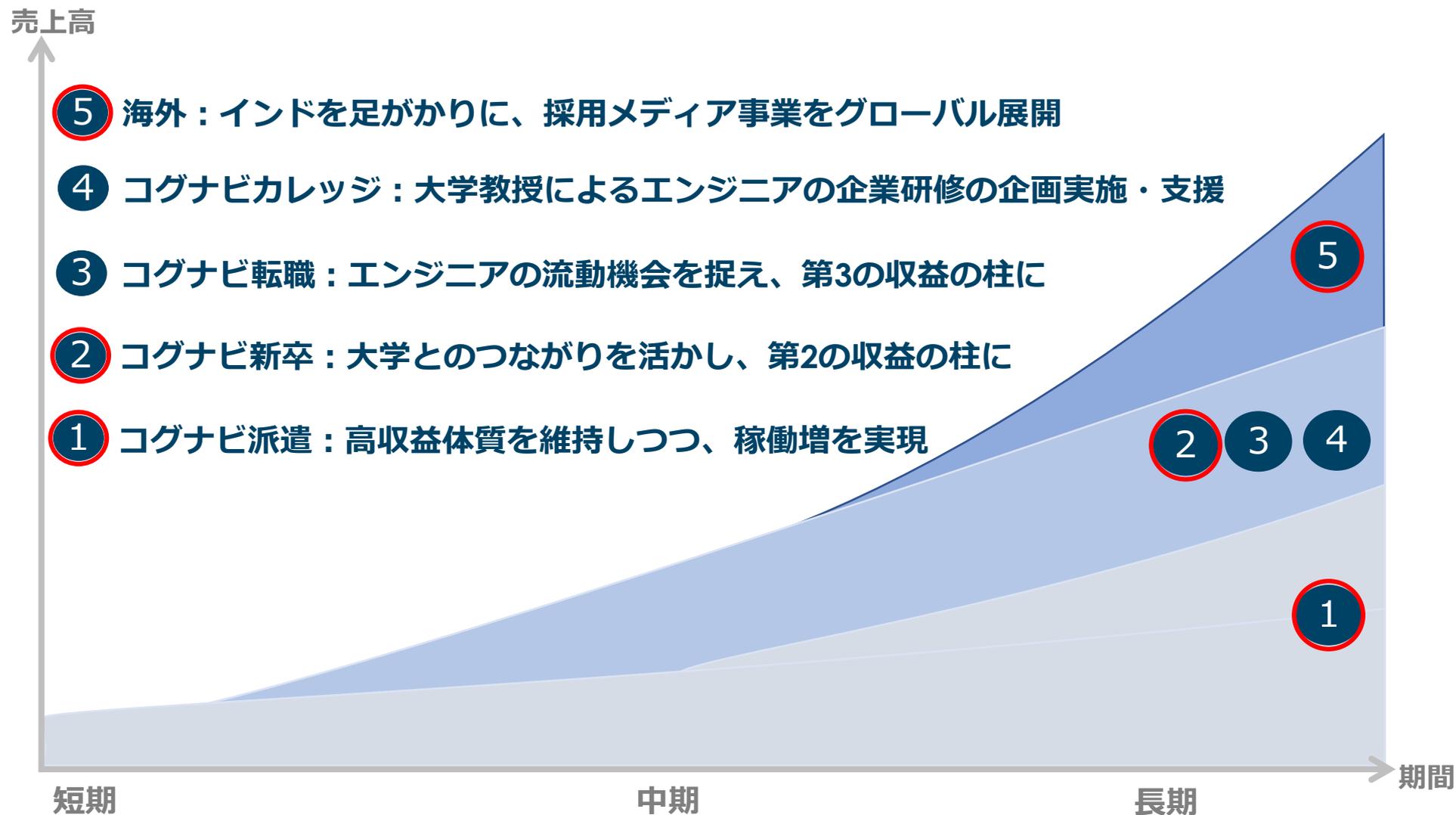
【売上高】

【営業利益/営業利益率/ROE】



- 2025年3月期 第3四半期決算概況について
- **国内各事業サービスの状況**
- 海外事業サービスの状況
- Appendix

今期も前期と同様に3つの事業に注力



- 国内各事業サービスの状況

コグナビ派遣 コグナビ新卒 コグナビ転職／コグナビカレッジ

① 稼働人数

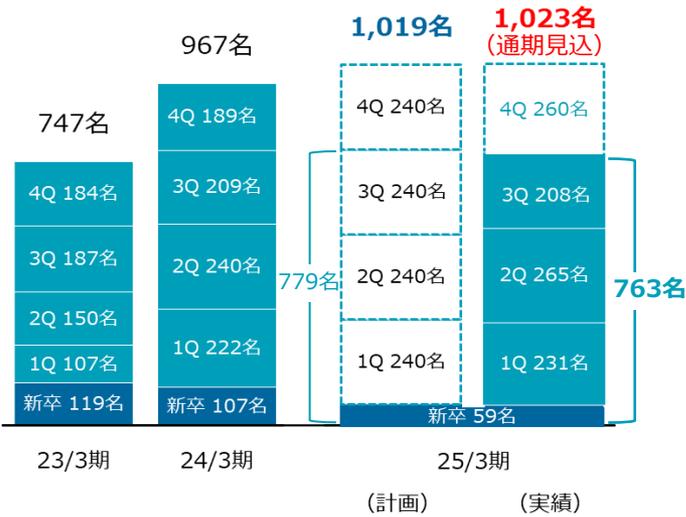
3Q実績は4,492名、期初から212名増。
計画の4,700名に対し、期初から300名増の4,580名を見込む。



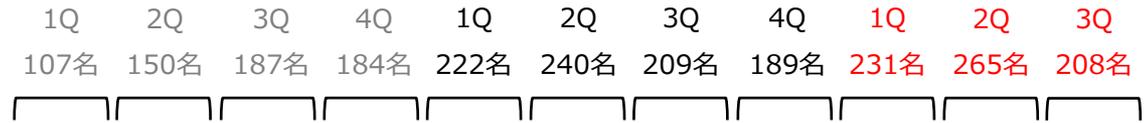
注* 各期における期初時点 (4月始め) の数字

3Qの採用実績は763名と、計画に対して微減。通期見込はほぼ計画通り。

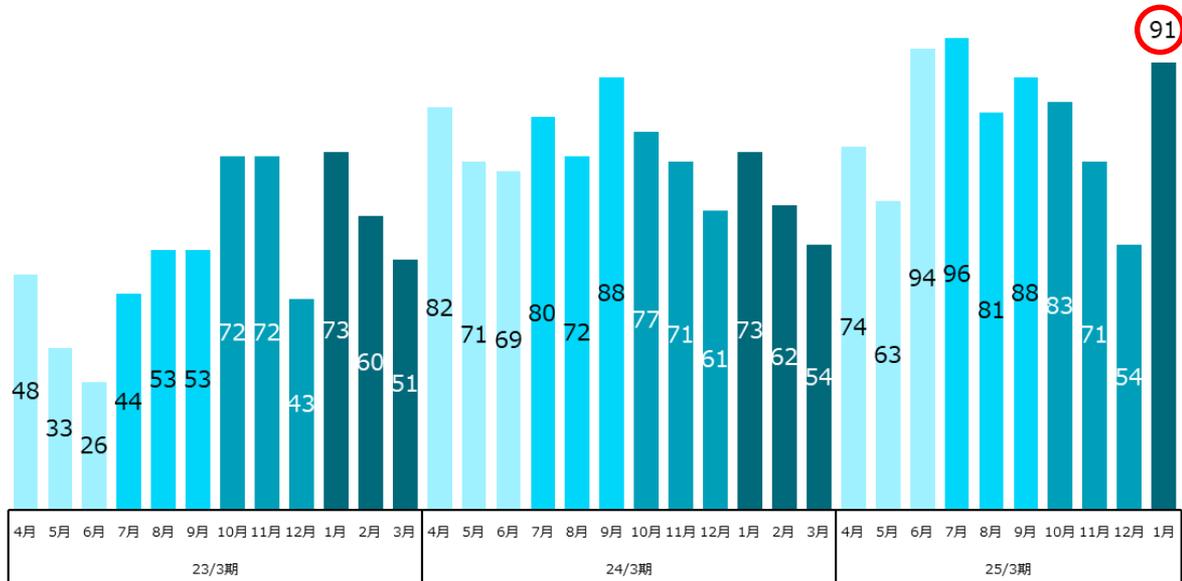
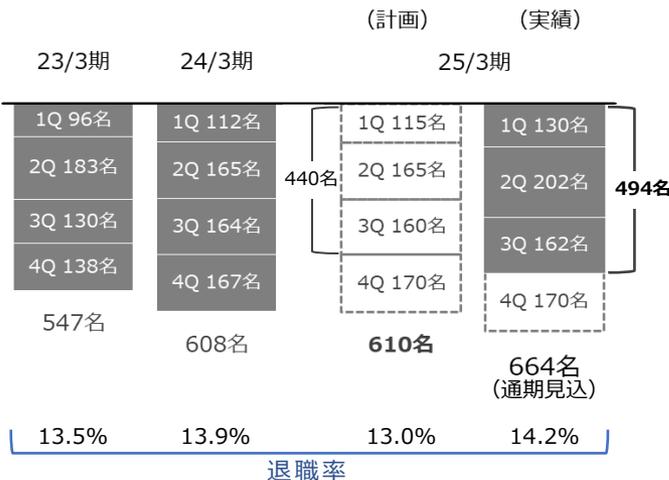
採用数（期別）



採用数（四半期別・月別）



退職数（期別）



従業員持株会を設立。12月より拠出開始。

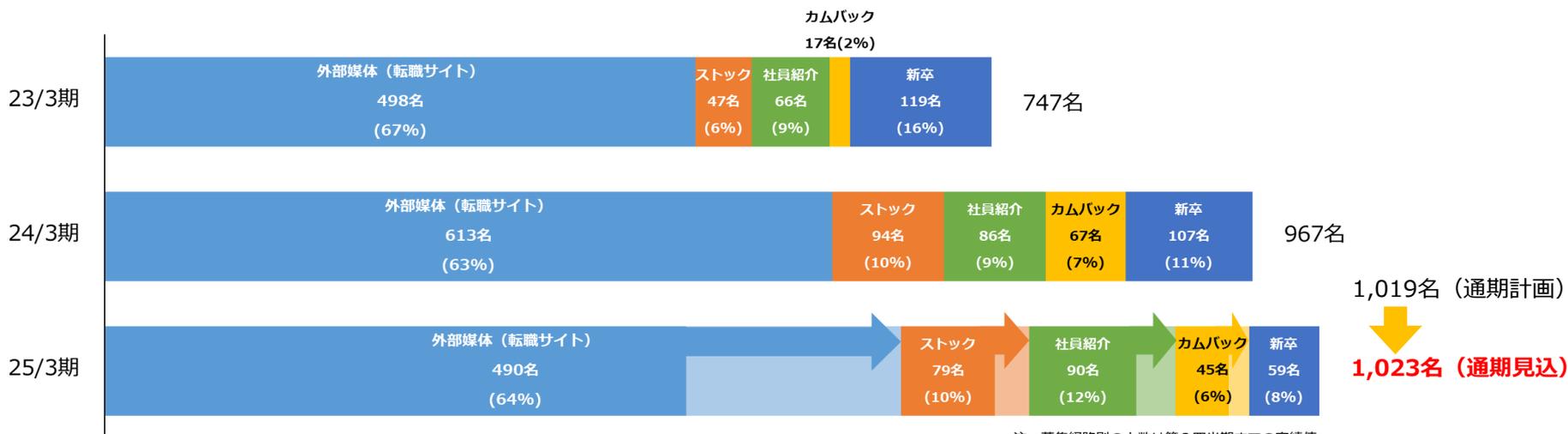
【12/20時点の加入者】
 スタッフ 171名 (44%)
 E S 1,264名 (28%)

① エンジニア採用戦略と、募集経路別の内訳

5つの経路とも順調に推移。通期の採用計画は達成の見込み。

- ① 外部媒体 … 未経験者採用をやめ、経験者採用のみに注力。
- ② ストック人材 … 過去の辞退応募者（約36,000名）に対し、再応募を促すメールを定期配信。
- ③ 社員紹介制度 … 紹介者（当社社員）に対してメールを定期配信し、協力を要請。
- ④ カムバック採用 … 過去の退職者（約7,000名）に対し、再雇用を促すメールを定期配信。
- ⑤ 新卒採用 … エンジニア職セミナーを通じてつながりのある教授から未内定学生の紹介を受ける。

採用数 募集経路別内訳

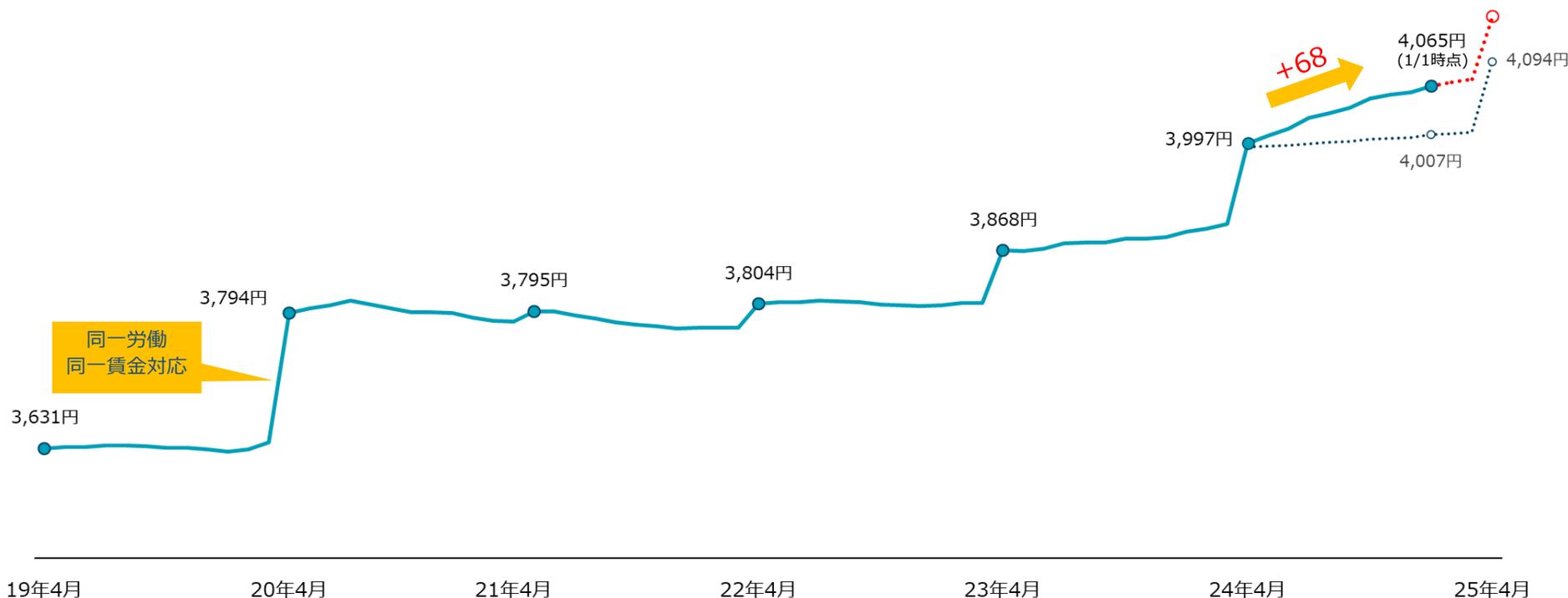


注* 募集経路別の人数は第3四半期までの実績値

① 稼働平均単価

期初から68円アップ。経験者採用への注力とインフレ傾向により、新規契約単価が上昇した事で、稼働平均単価も上昇。

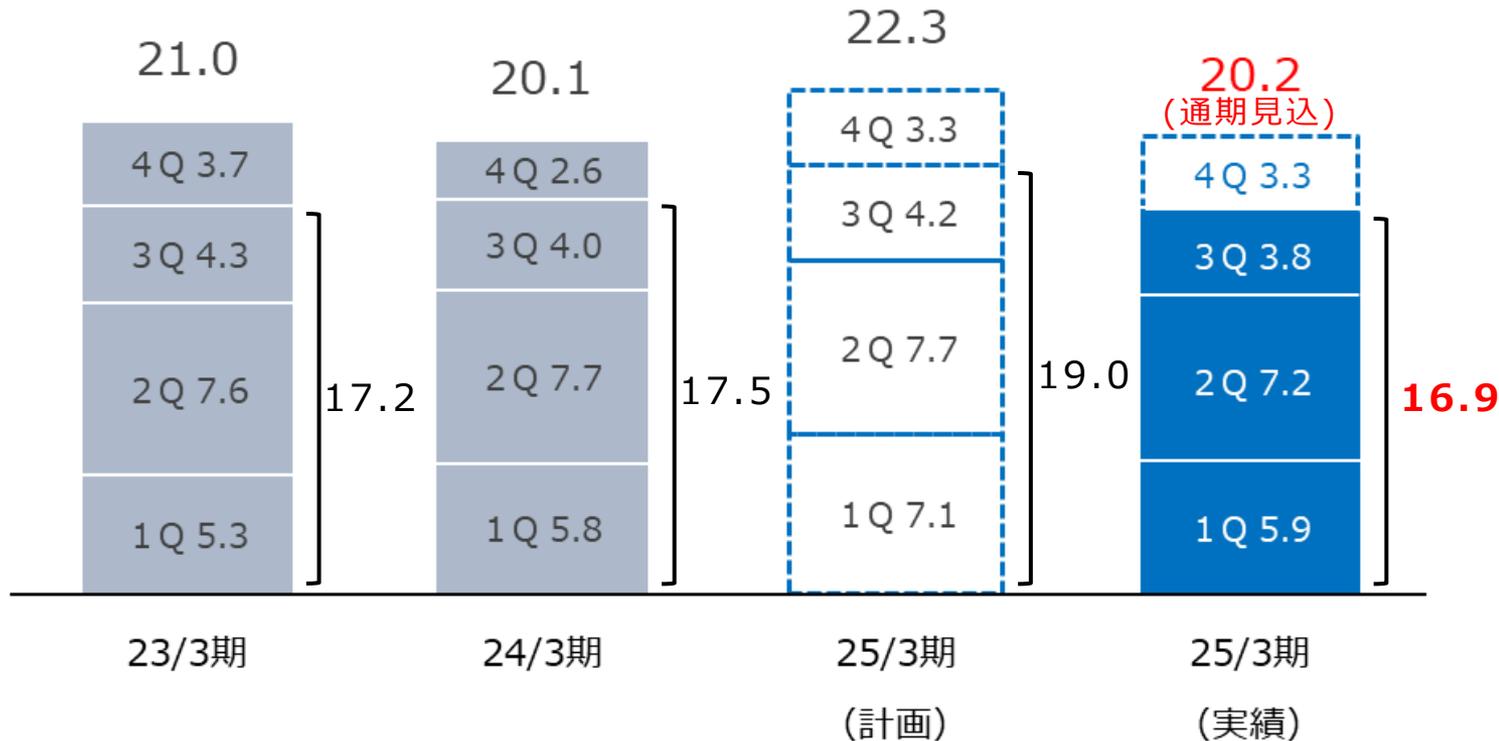
稼働平均単価



① 有休取得日数

3Q計画は4.2日に対し、実績は3.8日。2Qに続き計画を下回る。
今期予測は20.2日を見込む。

有休取得日数



- 国内各事業サービスの状況

コグナビ派遣 コグナビ新卒 コグナビ転職／コグナビカレッジ

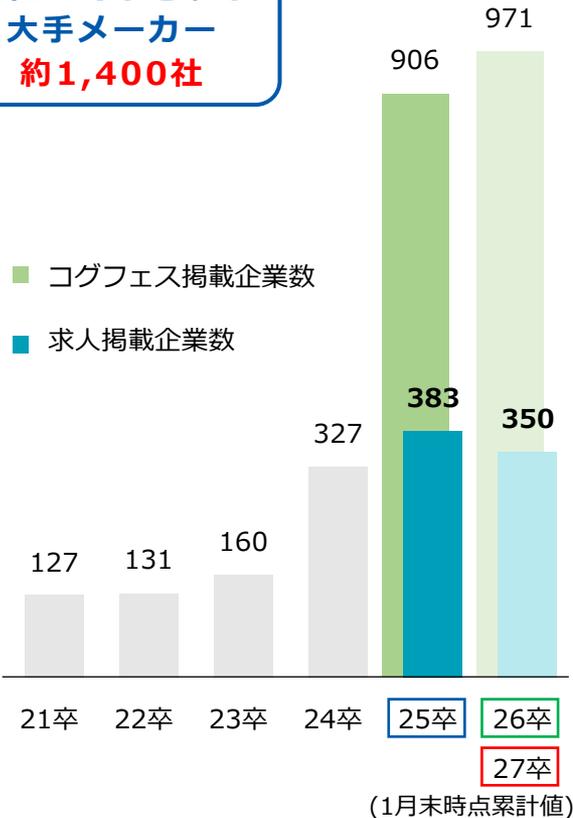
2025年卒業（2025/3月期売上）計画500名に対し、308名が成約。

2026年／2027年卒業からは課金体系を掲載料型に戦略を変更し、掲載企業数の拡大を目指す。

求人掲載企業数

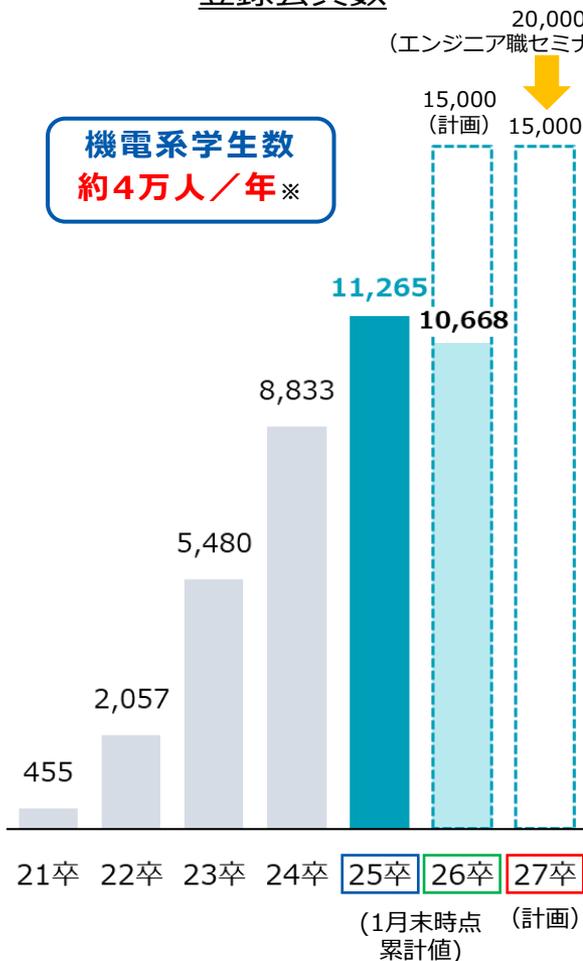
当社が対象とする
大手メーカー
約1,400社

■ コグフェス掲載企業数
■ 求人掲載企業数



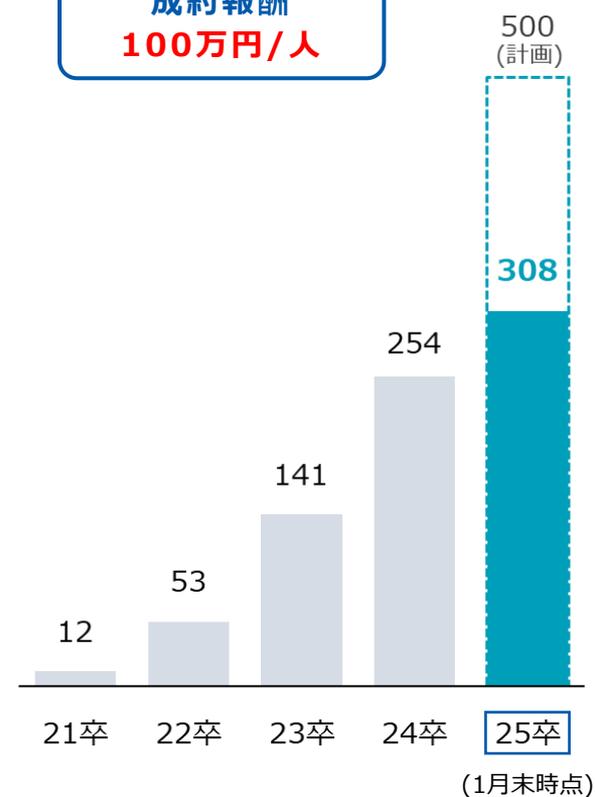
登録会員数

機電系学生数
約4万人/年※



成約数

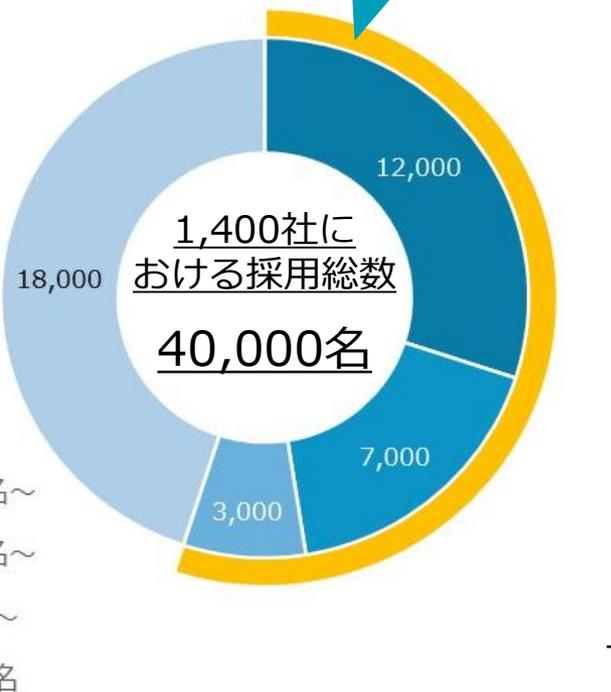
成約報酬
100万円/人



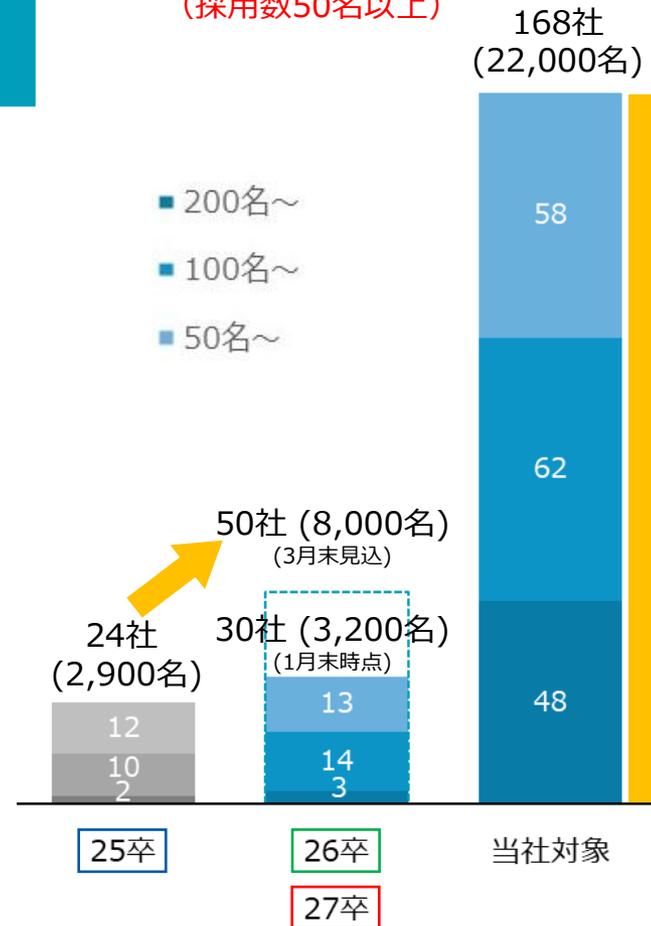
② 主要168社（採用数50名以上）の進捗

採用数50名以上は
168社
(全体の13%)

採用数50名以上の
168社で
22,000名採用
(全体の55%)



求人掲載企業数
(採用数50名以上)



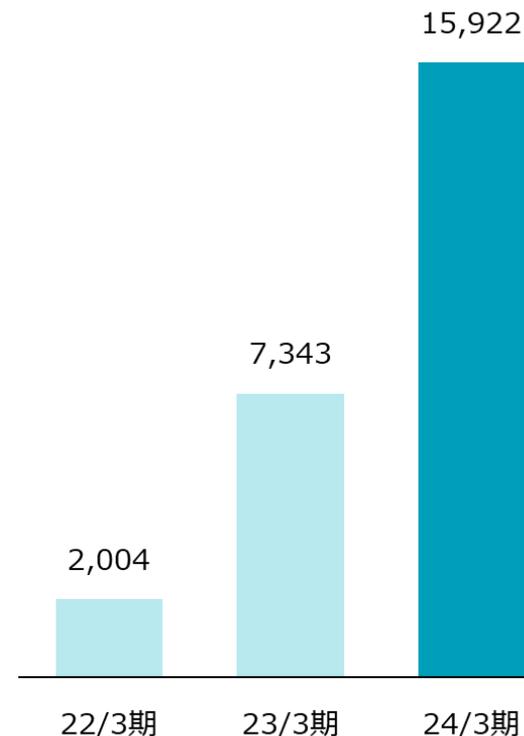
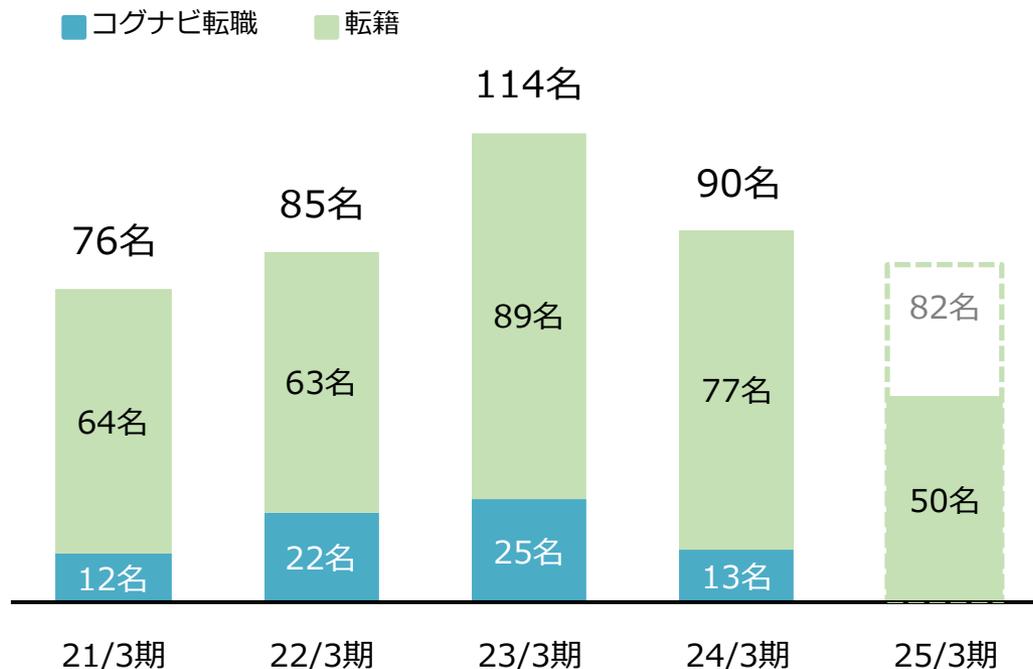
- 国内各事業サービスの状況

コグナビ派遣 コグナビ新卒 コグナビ転職／コグナビカレッジ

今期はWeb広告やCM等の会員集客費用をかけず、派遣事業でのエンジニア社員がクライアント企業への直接雇用へ切り替える、「転籍」のみ実施。コグナビ新卒で就職したエンジニアがいずれ転職する際の受け皿となる事で、中長期的な収益化を目指す。

成約数

コグナビ新卒会員ストック数
(累計)

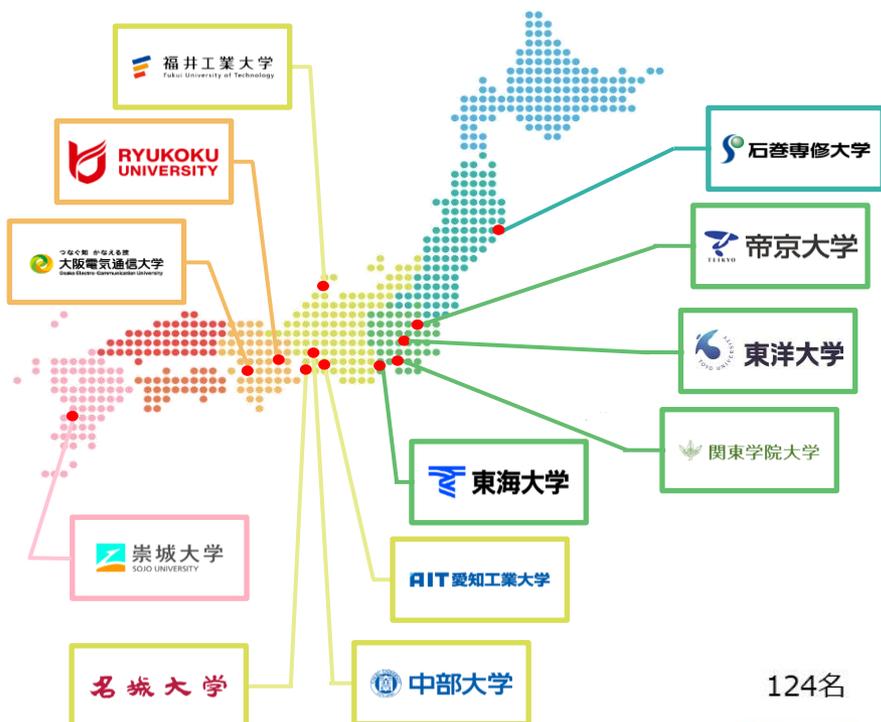


(12月末時点累計値)

これまでに649名が受講。そのうちコグナビ新卒経由で入社した新入社員を対象とした「基礎研修」の受講者は67名。今後もコグナビ新卒とセットで導入を推進し、事業の拡大を目指す。

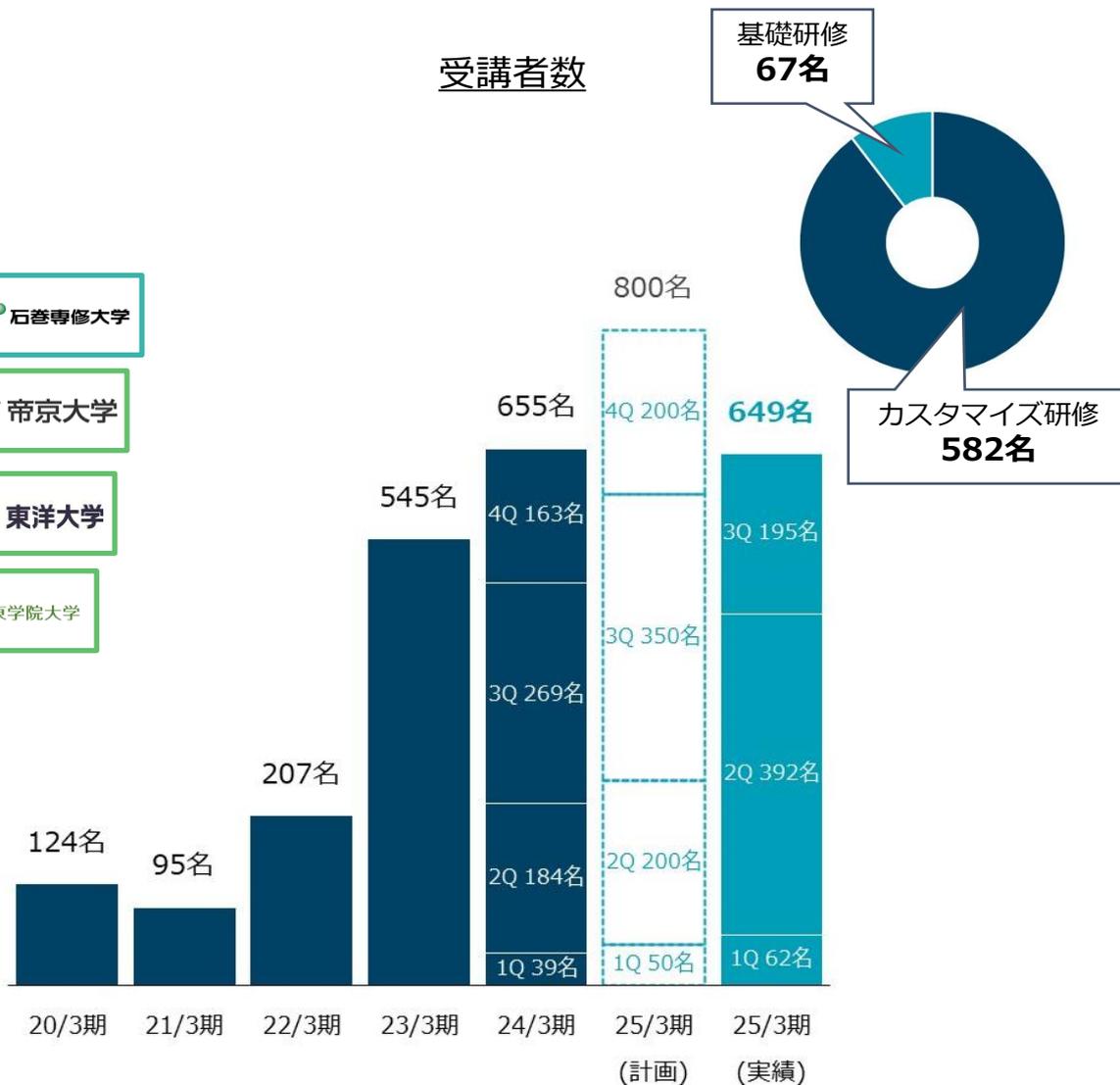
提携大学

注* 2024年12月末時点



計12大学と提携
教授数の総計：約850名

受講者数



- 2025年3月期 第3四半期決算概況について
- 国内各事業サービスの状況
- **海外事業サービスの状況**
- Appendix

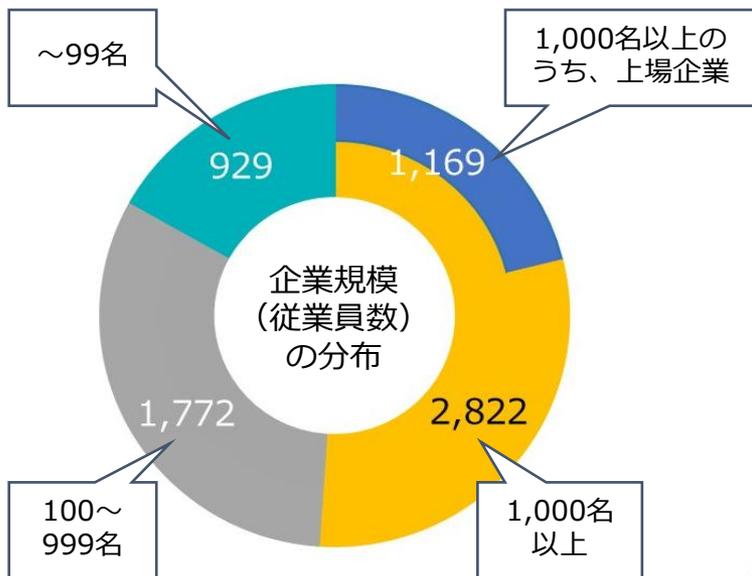
(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期実績	通期業績予想	2026年3月期 計画
売上	15	30	310
販管費	294	380	490
営業利益	▲279	▲350	▲170

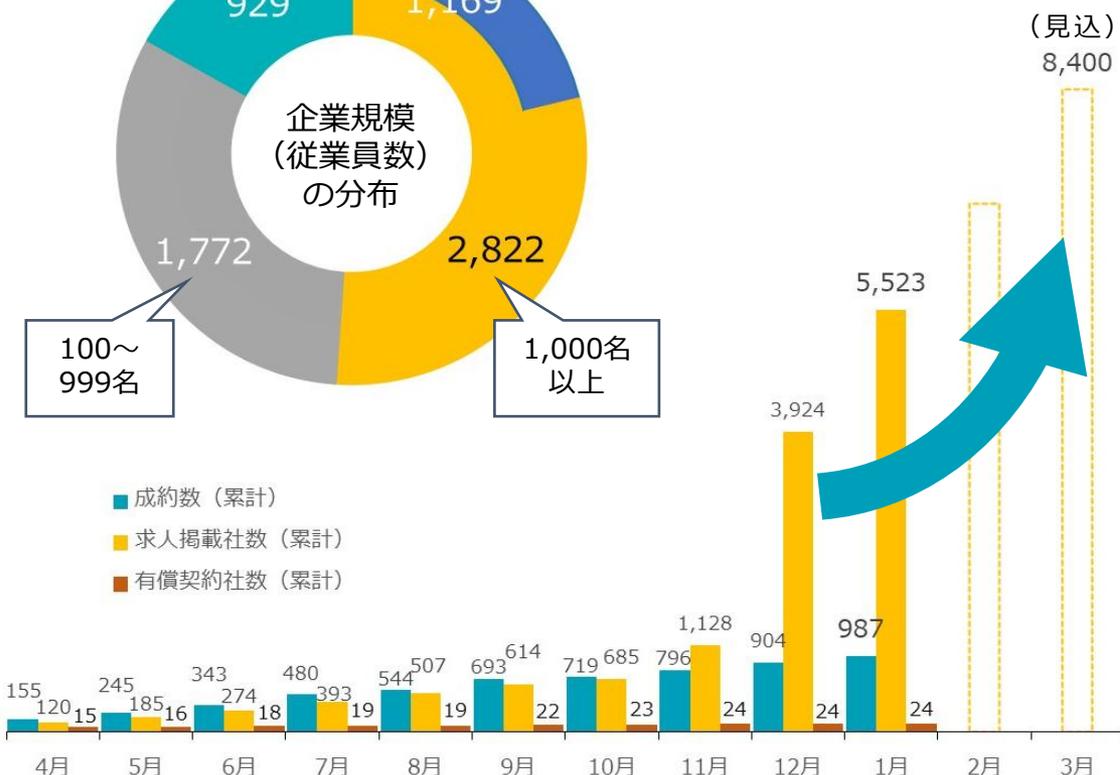
⑤ 企業向け 採用管理システム「Recruiter Portal」

インドにおける就活シーズンである2025年1～3月に向けて、オンライン営業を強化し、利用企業が飛躍的に増加。

導入企業数

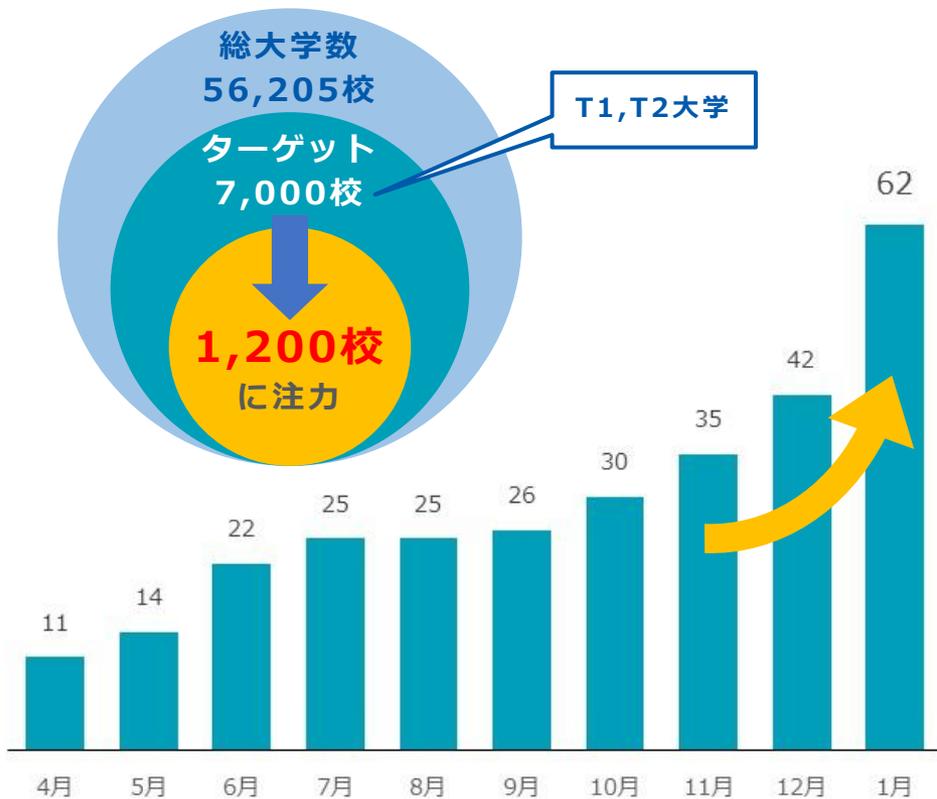


主な導入企業



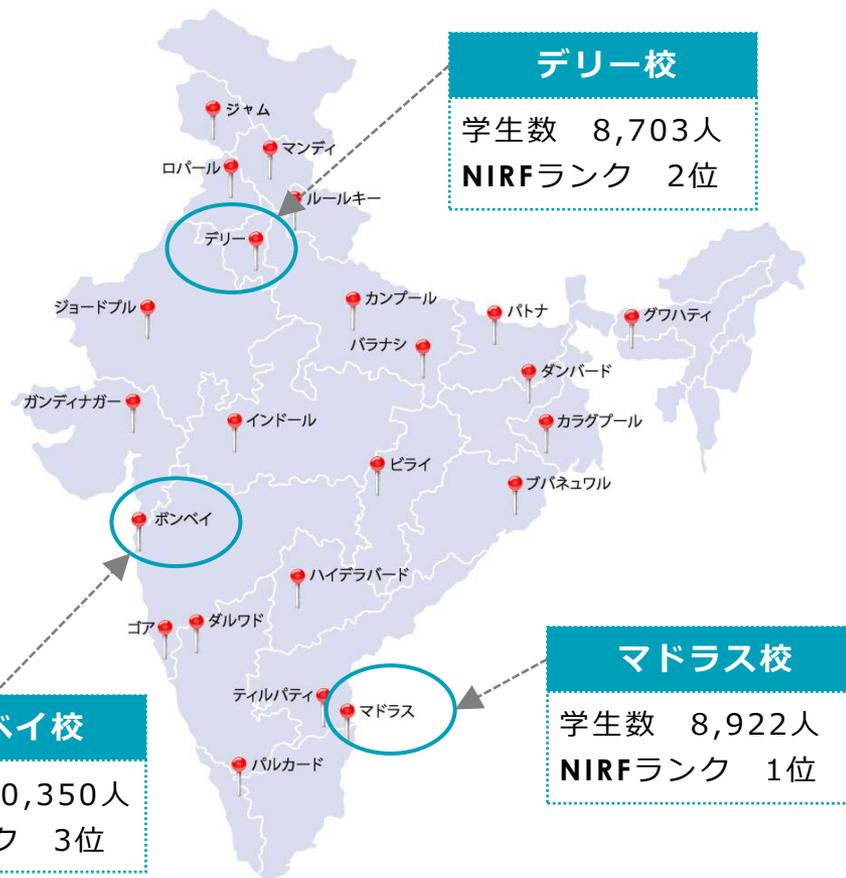
これまでに62校が導入。優れたエンジニアの輩出で世界的に有名なインド工科大学（IIT）のうち、3校へのサービス提供を開始。

導入大学数



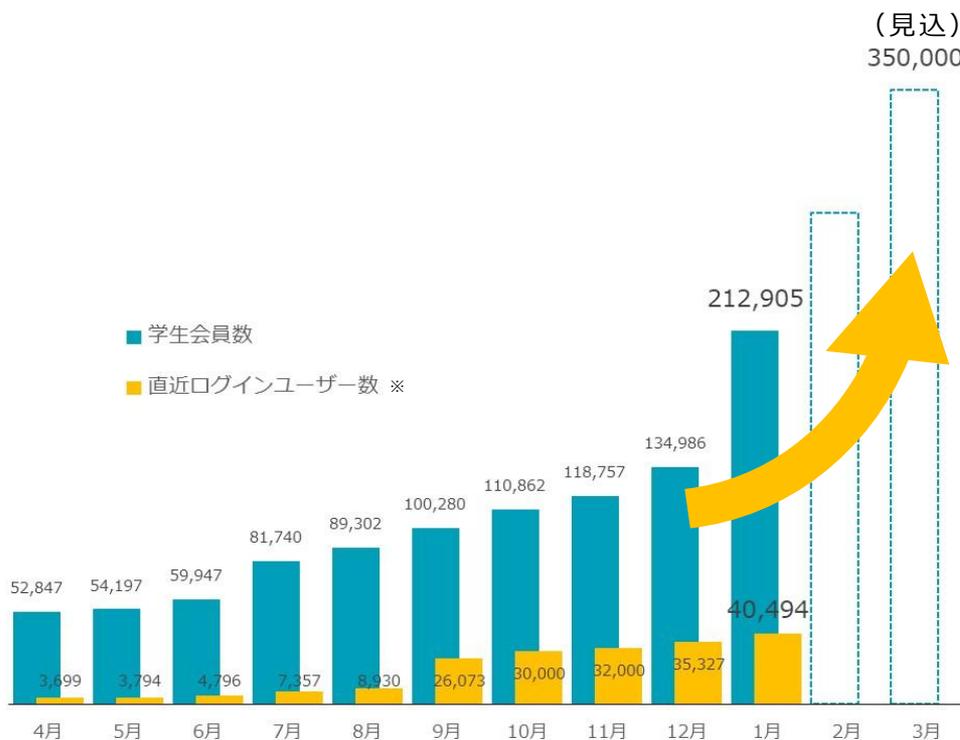
インド工科大学（IIT）

- ✓ 合格率約1.6%の超難関
- ✓ 成績上位者から順に
キャンパス・学部を選択(全23校)



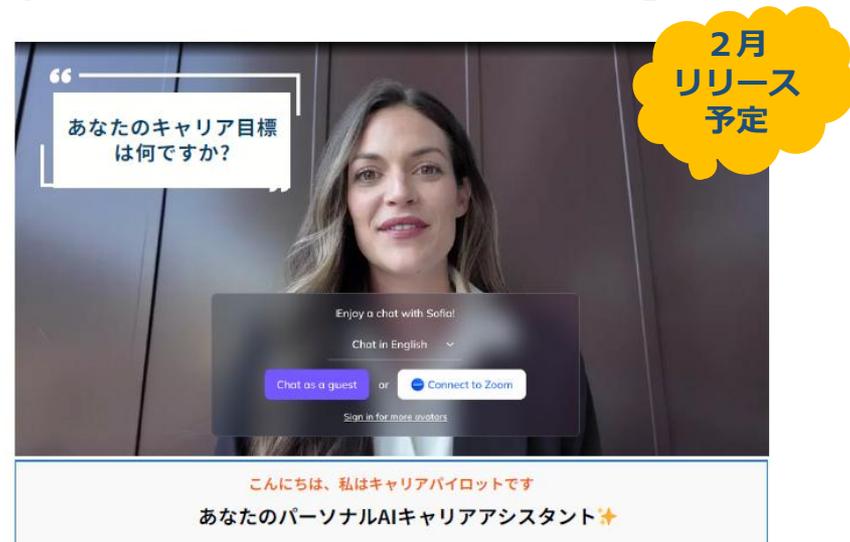
会員数は21万人を突破。導入大学の学生に加え、Web経由での会員登録も増加。

— 会員数



※全会員における直近30日間のログインユーザー数

— 新機能「AIキャリアカウンセラー」



- ✓ 30か国語に対応可能。
- ✓ AIアバターによるカウンセラーが学生と会話。
- ✓ 会話から学生のプロフィールデータを収集／記録。
- ✓ 学生の就活準備状況を把握し、アドバイスする。
- ✓ 収集したデータは求人とのマッチングにも活用。



今後は営業支援やカスタマーサポートにもAIアバターを活用予定。

- 2025年3月期 第3四半期決算概況について
- 国内各事業サービスの状況
- 海外事業サービスの状況
- **Appendix**

E

- ・再エネとDXを積極的に活用し、環境負荷を低減



S

- ・機械・電気系学生向け「エンジニア職セミナー」活動を継続
- ・大学でエンジニア向け企業研修、リスキリングの企画・実施
- ・スキルや学びをベースにした独自のAIマッチング技術の活用
- ・レスキューロボットコンテスト、RoboCupジャパンオープン協賛
- ・理工系大学を目指す高校生向けセミナーでの講演
- ・ノーマライゼーション事業の推進
- ・インドと日本の大学交流を支援（印日学生の短期学術交流プログラム）



G

- ・バランスの取れたガバナンス体制の維持
- ・サイバーセキュリティへの対応





～印日学生の短期学術交流プログラム“Discover India”をスタート

「SRM大学 AP校」と提携し、日本の工学系の教授と学生を、当社が費用負担※し、同大学へ招待する企画です。滞在中はキャンパス内の宿泊施設で過ごし、授業への参加や現地企業の見学を通じて、教授や学生と交流します。（※初回参加のみ。個人的な費用は除く）

→ 今期は8大学、教授14名と学生46名の参加が決定。

参加時期	大学名	参加教授数	参加学生数
8月	東海大学	2名	5名
8月	東京理科大学	2名	4名
9月	千葉工業大学	2名	5名
9月	広島工業大学	1名	3名
10月	崇城大学	1名	5名
2月	日本大学	2名	6名
2月	龍谷大学	2名	8名
3月	慶應義塾大学	2名	10名



SRM大学 AP校 (SRM University, Andhra Pradesh)

1985年創立。インドの私立大学の中では最大の規模（学生52,000名、教員3,200名）かつ学カレベルもトップランクに入る大学グループのひとつ。アーンドラ プラデーシュ州（AP州）をはじめ、チェンナイなどインド国内6都市に計8つのキャンパスがあり、6つの学部（工学・技術、経営、医学・健康科学、科学・人文科学、法律、農学）を有する、総合大学。日本を含む世界各国の企業との共同開発や、大学との交流プログラムなども、積極的におこなっている。



※SRM大学 AP校の最新施設

- 現地でのスケジュールの一例

日程	
1日目	成田国際空港からインド・バンガロールへ
2日目	大学に移動、ウェルカムミーティング、機械工学のワークショップ
3日目	電気電子工学のワークショップ、現地企業見学
4日目	研究発表、日本語を学ぶ学生との交流、観光
5日目	ショッピングセンターへ立ち寄り、帰路へ
6日目	帰国



- 学生からのコメント

学生Aさん

「インドはコンピュータサイエンスに強みがあり、その強みを活かして日本で働きたいという熱意を多くの方が語っていて、就活生である私も刺激をもらいました。また、海外の理系学生は自分の専攻を活かして就職し、企業側もより専門性をもっている学生を重宝するという事実を知り、日本企業と学生が共に変わっていく必要があるのだなと感じました。」

学生Bさん

「インドの学生は向上心が強く、研究熱心であるように感じました。また、インド学生は学習2か月目であるにもかかわらず積極的に日本語を話しており、刺激を受けました。」

学生Cさん

「研究室を見学し、海外の学生がどのような空間で、どのような雰囲気、どのような規模感の装置を用いて研究を行っているかを生で見ることができ、非常に貴重な機会となりました。この経験を自身の研究活動にも活かしていきたいです。」

学生Dさん

「インドでは自身の研究に自信をもっている学生が多く、こちらの研究内容にも興味を持って聞いてくれました。日本の学生よりも自身の将来について具体的に深く考えているという印象を持ちました。」

一 気候変動への取組み（TCFD）



地球規模で気候変動問題が重要視される中、当社はカーボンニュートラル達成に向けた目標を設定、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に基づく情報開示を実施しました。

リスク管理

中期経営計画「cognavi Vision2026」におけるサステナビリティに対する考え方、及び取組みを全社活動目標として設定し、目標達成に向けた取組みをレビューし、社内会議体にて適宜モニタリングする運用としています。また、サステナビリティに関するリスク・機会について、可能性と影響度の観点から、重要度の高い項目に絞り込んで取組み、自社の事業活動に大きく関連するリスク・機会については、経営会議等で確認を行い、経営戦略及びリスク管理へ反映します。

指標と目標

2050年のカーボンニュートラル実現を長期的な目標として設定し、2024年度にGHG排出量の算定を実施しました。引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大・強化や事業活動からのCO2排出量の最小化に取り組んでいきます。

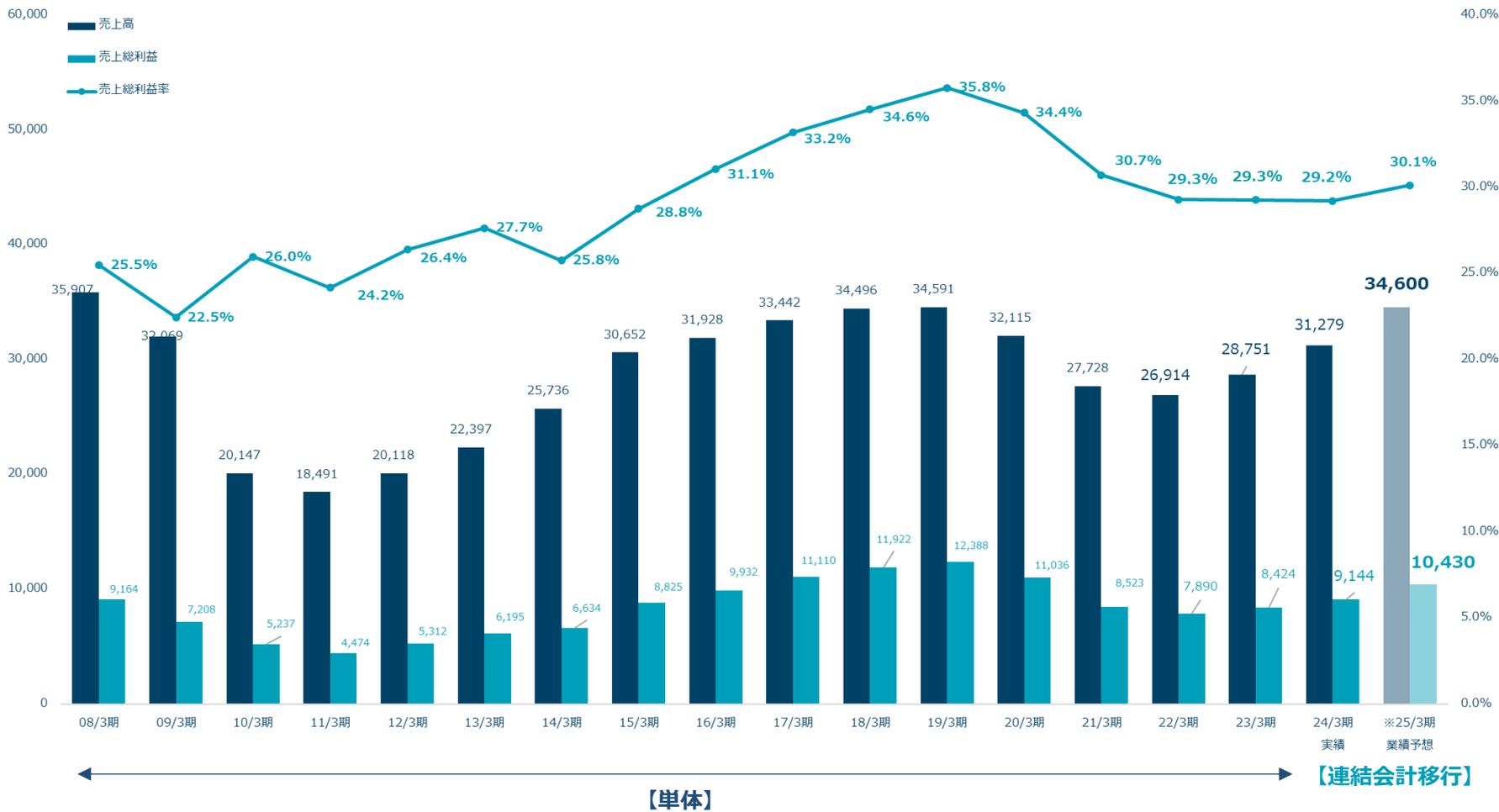
単位：tCO2

	2023年度実績	2050年目標
Scope1	73	カーボンニュートラル
Scope2	116	
計	189	

※上記数値は（株）フォーラムエンジニアリング単体

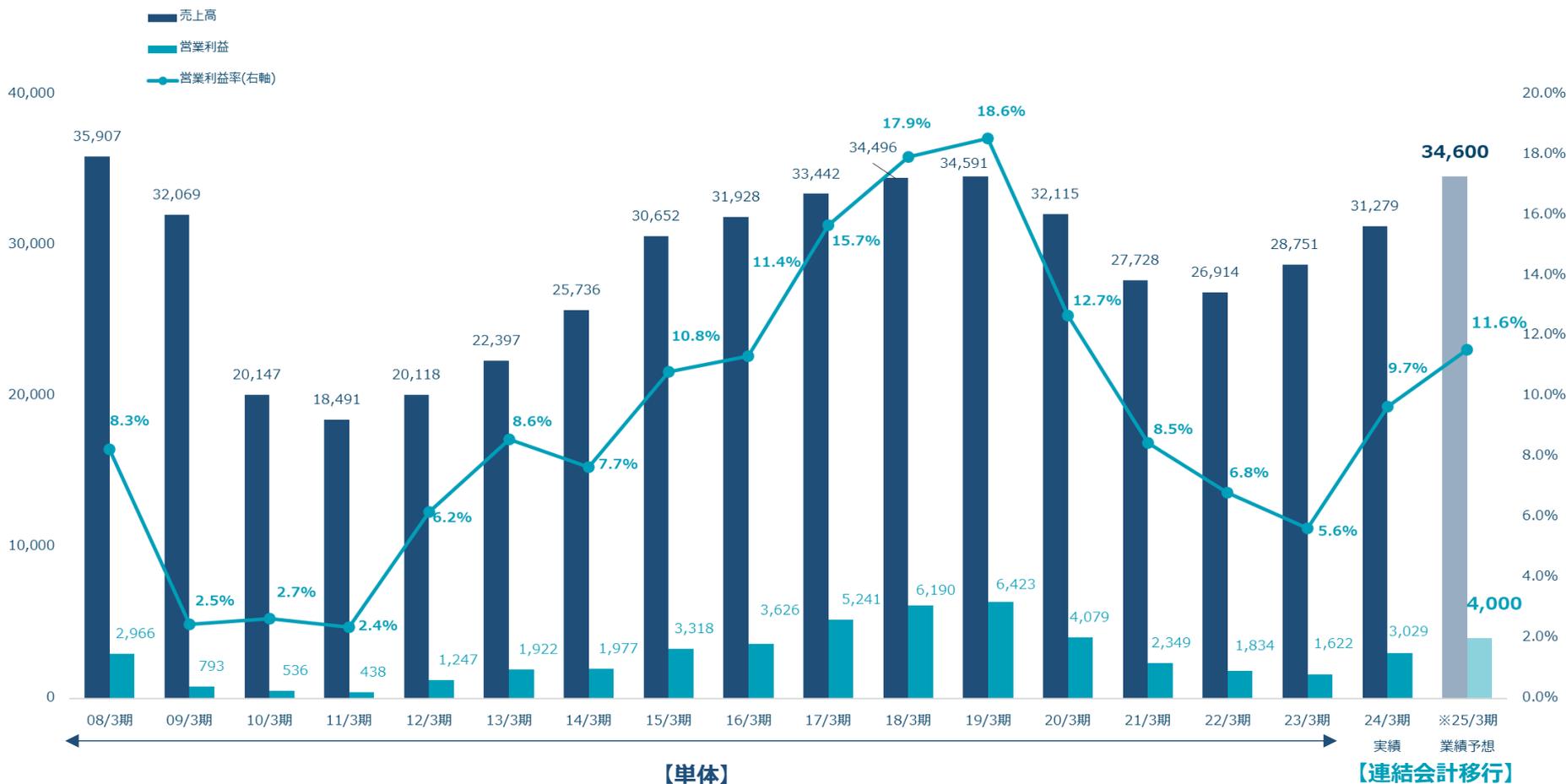
売上高・売上総利益・売上総利益率の推移

(単位：百万円)



売上高・営業利益・営業利益率の推移

(単位：百万円)



2024年3月期より連結会計に移行

損益計算書 (百万円)

	実績		
	23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 3Q 【連結】
売上高	28,751	31,279	26,052
売上総利益	8,424	9,144	8,130
	29.3%	29.2%	31.2%
販売費及び一般管理費	6,802	6,115	4,713
	23.7%	19.5%	18.1%
営業利益	1,622	3,029	3,417
	5.6%	9.7%	13.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,163	2,039	2,330
	4.0%	6.5%	8.9%

貸借対照表 (百万円)

		23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 3Q 【連結】			23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 3Q 【連結】
流動資産	現金及び預金	10,395	11,006	9,947	負債の部	流動負債合計	5,728	4,618	4,550
	流動資産合計	14,492	15,117	14,434		固定負債合計	-	9	78
固定資産	有形固定資産	435	417	470	負債合計	負債合計	5,728	4,628	4,628
	無形固定資産	1,391	1,157	1,123		純資産の部	株主資本合計	11,972	12,921
	投資その他の資産	1,380	1,225	1,247	純資産合計		11,972	13,289	12,648
	固定資産合計	3,207	2,800	2,842	負債純資産合計	17,700	17,918	17,277	
資産合計		17,700	17,918	17,277					

キャッシュフロー計算書 (百万円)

	23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 2Q 【連結】
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,515	3,299	1,595
減価償却費	336	400	197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△594	△1,078	△95
有形及び無形固定資産の取得による支出	△499	△209	△96
フリー・キャッシュ・フロー ¹	921	2,221	1,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,215	△2,771	△1,922
現金及び現金同等物の期首残高	13,690	10,434	9,904
現金及び現金同等物の期末残高	10,395	9,904	9,458

注*1営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

〈KPI項目〉		23/3期					24/3期					25/3期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
コグナビ派遣	・ 案件数 (件)	2,135	2,122	2,490	2,460	9,207	2,572	3,410	2,872	2,519	11,373	2,534	2,504	2,556		
	・ 中途採用数 (名)	107	150	187	184	628	222	240	209	189	860	231	265	208		
	・ 新卒採用数 (名)	119	—	—	—	—	107	—	—	—	—	59	—	—	—	—
	・ 退職数 (名)	96	183	130	138	547	112	165	164	167	608	130	202	162		
	・ 退職率 (%)	—	—	—	—	13.5	—	—	—	—	13.9	—	—	—		
	・ 在籍技術者数 (名)	3,904	3,914	3,964	4,019	—	4,190	4,284	4,336	4,340	—	4,470	4,539	4,589		
	・ 稼働者数 (名)	3,834	3,857	3,913	3,927	—	4,046	4,137	4,229	4,224	—	4,337	4,392	4,466		
	・ 稼働率 (%)	97.9	98.5	98.5	98.2	98.3	96.5	96.5	97.2	97.4	96.9	98.5	98.3	98.3		
	・ 稼働時間 (時間)	157.7	154.3	160.6	156.7	—	157.6	153.1	163.6	153.7	—	157.9	154.5	164.1		
	・ 派遣単価 (円)	3,807	3,806	3,802	3,826	—	3,872	3,879	3,886	3,931	—	4,016	4,041	4,056		

注* 在籍技術者数、稼働者数は、四半期末日時点の人数

* 稼働率は、該当四半期の3か月の月末時点における在籍技術者数の総和を分母、同時点の稼働者数の総和を分子として算出
 尚25/3期より「入社後未就業のエンジニア」を除いた数値を掲載（1Q分は遡及修正済）

* 「入社後未就業のエンジニア」とは、当社に入社後、最初の就業先企業が未定のエンジニアのことを指す

* 稼働時間は、該当四半期の3か月の月稼働時間の平均で計算

* 派遣単価は、各四半期末時点の契約単価の平均値

* コグナビ派遣サービスに関する各KPIについては、退職者を除く正社員の在籍技術者を対象とした集計値

〈KPI項目〉			23/3期				24/3期				25/3期			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コグナビ新卒	24卒	・ 求人掲載企業数 (社)	25	115	186	263	311	325	327	327	—	—	—	—
		・ 登録会員数 (名)	3,934	4,754	7,977	8,537	8,669	8,726	8,808	8,833	—	—	—	—
		・ 成約数 (名)	—	—	—	14	144	240	259	254	—	—	—	—
	25卒	・ 求人掲載企業数 (社)	—	—	—	—	—	197	326	344	365	383	383	
		・ 登録会員数 (名)	—	—	—	—	4,973	6,296	10,587	11,154	11,265	11,265	11,265	
		・ 成約数 (名)	—	—	—	—	—	—	—	18	220	287	305	
	26卒	・ 求人掲載企業数 (社)	—	—	—	—	—	—	—	—	77	250	318	
		・ 登録会員数 (名)	—	—	—	—	—	—	—	—	6,041	7,253	10,412	
		・ 成約数 (名)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

注 * 求人掲載企業数、登録会員数、成約数は全て累計数字

本資料には当社の現在の見通し、予想、目標、計画等を含む将来に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、将来に関する記述であることを示すためにすべてではありませんが、「信じる」、「預期する」、「計画する」、「戦略をもつ」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性がある」というような表現を、あるいは将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他「類似した表現」を用いています。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績その他の結果は、将来予想に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。従って、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料は、当社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社及び当社の普通株式に関する全ての情報を含むものではありません。当社の普通株式への投資判断は、当社が開示している資料をご覧ください。そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。

本資料に掲載されている情報は、日本語で作られています。英語翻訳による情報は、海外の投資家の便宜を図る目的から提供しているものです。日本語と英語での解釈に相違がある場合、日本語が優先します。



株式会社 フォーラムエンジニアリング

お問い合わせ先

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・IR部

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー15階

メール：ir@forumeng.co.jp